

現代社会文化研究科

▶ 専攻履修及びその他についての諸注意

用語解説

I 一般的事項

- 1) 専攻履修については、大学院学則・学位規程・研究科規程・その他の規程を熟読の上、開講科目一覧表やシラバス等を参照し、履修科目を決定すること。
- 2) 履修登録、研究指導計画書は所定の方法に従って、指定の期日までに行わなければならない。履修登録がされていないと、単位修了の認定を受けることができない。

II 研究指導要綱、研究指導計画書

研究指導要綱は、各専攻ならびにコースにおける修了までの履修・学習プロセス、研究指導内容を明示している。学生は、研究指導要綱に基づき、研究指導教員（副指導教員）の助言・指導を受け、研究指導計画書を作成し、定められた手続きで教務課に提出すること。

III 履修及び単位修得

- 1) 各専攻の履修及び単位修得については、以下の通りである。

現代社会学専攻

現代社会学専攻にあつては、専攻共通科目 4 単位および研究指導科目 8 単位、並びに専攻科目 18 単位以上の合計 30 単位以上を修得しなければならない。ただし、専攻科目は自コースから 12 単位以上修得しなければならない。なお、大学院共通科目は専攻科目 18 単位の中に含めることができる。

国際教養学専攻

国際教養学専攻にあつては、専攻共通科目 4 単位および研究指導科目 8 単位、並びに専攻科目 18 単位以上の合計 30 単位以上を修得しなければならない。ただし、専攻科目は自コースから 12 単位以上修得しなければならない。なお、大学院共通科目は専攻科目 18 単位の中に含めることができる。

- 2) 学業成績は、100 点満点で 60 点以上を合格とする。

IV 修士論文

- 1) 修士論文計画書(2,000 字以内)は、論文提出の 6 ヶ月前までに教務課へ提出しなければならない。
- 2) 修士論文を提出するものは、論文 3 部(2 部はコピーでもよい)を提出期限(1 月 14 日あるいは 6 月 30 日。ただし、本学の休業日に当たる場合は翌日)までに教務課に提出しなければならない。
- 3) 修士論文は以下の基準に照らして、厳正に審査を行う。
 - ① テーマの設定は適切か。
 - ② 構成のしかたは適当か。
 - ③ 論旨に適合した方法が用いられているか。
 - ④ 先行研究を踏まえたうえで、独自性・独創性が打ちだされているか。
 - ⑤ 資料は正確かつ適切に取り扱われているか。
 - ⑥ 論旨を明確に伝える表現がなされているか。

- ⑦ 指導教員による指導を適切に受けているか。
- 4) 病気その他やむをえない事情により修士論文を期日までに提出できないものは、その理由を証する書面を添えて提出期限までに研究科長に願い出た場合に限り、延期を許可することがある。
- 5) 修士論文の審査に不合格の場合、あるいは修士論文を提出しなかった場合には、次年度の前期に提出することができる。

V その他

- 1) 教務課において発行する以下の証明書の交付を希望する者は、あらかじめ交付願(所定の様式の書類は教務課にて交付)を提出すること。
- i) 単位修得及び学業成績証明書
 - ii) 修了見込証明書
 - iii) 修了証明書
 - iv) 在学証明書
- 2) その他資格取得及び学生生活一般のことについては「資格取得に関する事項、その他の規則・規程」を参照のこと。なお、その他は研究科委員会で決定し、必要と認めた場合はその都度掲示等によって連絡する。

▶ 開講科目一覧表 (2022年度)

別表 I 現代社会学専攻

分野	授業科目	単位数	教職課程		大学院進学希望者指定科目	
			社会	公民		
専攻共通科目	現代社会学総論	2			○	
	社会調査法演習	2			○	
研究指導科目	研究演習Ⅰ	2			○	
	研究演習Ⅱ	2			○	
	研究演習Ⅲ	2				
	研究演習Ⅳ	2				
専攻科目	現代社会学コース	理論社会学研究	2	○	○	○
		家族社会学研究	2	○	○	○
		市民社会研究	2			○
		地域社会学研究	2	○	○	○
		組織社会学研究	2	○	○	○
		医療と社会研究	2	○	○	○
		社会と規範研究	2	○	○	○
		犯罪社会学研究	2	○	○	○
		科学社会学研究	2	○	○	○
		多変量解析演習	2			○
		質的調査法演習	2			○
		スポーツ文化論研究	2	○	○	○
		社会文化理論研究	2	○	○	○
		コミュニケーション論研究	2	○	○	○
		メディア社会研究	2	○	○	○
		文化社会学研究	2	○	○	○
消費社会論研究	2	○	○	○		
表現文化論研究	2	○	○	○		